



## 運動会係打ち合わせ

21日(火)は、運動会の係打ち合わせがありました。運動会という大きな行事を運営するためには、教職員だけでは運営できません。そこで、運営をサポートしてくれるのが5・6年生の係の子供たちなのです。運動会には、決勝・準備・放送・採点・児童・応援という係があります。その係の子供たちの当日の動きや役割分担の共通理解を行うのが係打ち合わせです。打ち合わせをしている子供たちに運動会当日に頑張りたいことをインタビューすると、採点係の子供は、「速く正確に、計算したいです。」「間違えないように計算の練習をしてから運動会を迎えたいです。」と意欲をみせていました。また、放送係の子供は「当日は、はきはきと伝え、みんなを勇気付け、鼓舞したいです。」とやる気に満ちていました。このように、運動会の係活動によって、「自分たちで運動会をつくり上げる」という自主性を養うことがとても重要です。そのためには、前もって教職員が係ごとの打ち合わせを行い、子どもが混乱しないシステムを作っているのです。ご家庭でも、運動会終了後には、勝敗を越えて、係の仕事の責任を果たしたことについて大いに称賛してください。子供たちの心の中に帯西イエローの心が育ってくれることに期待しています。



## 国際生物多様性の日

昨日22日は、国際生物多様性の日だそうです。1992年5月22日に国連で生物多様性条約の本文が採択されたためです。生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性と繋がりを意味します。地球上の生きものは約40億年という長い歴史の中で、様々な環境に適応して進化し、3000万種ともいわれる多様な生きものが生まれました。私の大好きな海で言うなら、大きなクジラのように大きなものから、プランクトンのように小さなものまで、いろいろな生きものがいて、互いに繋がり合い、支え合って生きています。このように多種多様な生きものがお互い繋がり影響し合って、個性豊かに生命を育んでいることを、「生物多様性」と言います。しかし、生物多様性の喪失は過去50年間で68%も減少したそうです。これは、人間によって減少速度が高まっています。私たちの暮らしは、食べ物や衣服、飲み水など、様々な形で生きものがもたらす恵みに支えられています。この恵みを受け続けられるように、生物多様性について、私たち一人一人ができることを考えてみる必要があるようです。



例えば、カップ麺、お菓子、パンなどの加工食品や、化粧品、洗剤、医薬品などには、パーム油が使われています。この油を生産するために、インドネシアでは森林伐採が行われ、オランウータンやトラなどの動物のすみかが奪われているそうです。このように、私たちが普段、手にしているものが、知らないうちに大好きな生き物や植物に害をあたえているのです。この紙はどうやって作られているのか、この魚はどこで育っているのかなど、身近なものから興味を持って、調べてみることも大切な一歩です。

買い物の際に、以下の様なマークが付いている商品があったら是非気にかけてみてください。それが生物保護に繋がり、私たち人間の豊かな暮らしにも繋がっていきます。

